

平成25年度 事業計画書

(平成25年4月1日～平成26年3月31日まで)

1. アーカイブ事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等に関する作品や資料の収集、保存及びその公開を行なう。また、この活動に関わる諸テーマについて、財団独自で調査、研究を実施すると共に、国内外機関、個人との共同研究等も行う。【定款 第4条(1)、(3)、(6)】

国内外の優れたグラフィックデザインならびにグラフィックアート等に関する作品・資料を収集・保存し、その体系化や有効な活用をめざす。アーカイブをベースとした調査、研究を行うと共に、その内容や成果を公開する。公開の方法については、刊行物や、Web サイト等を利用する。

平成25年度は、田中一光、福田繁雄、永井一正のポスターアーカイブ寄託品を海外美術館等へ寄贈する活動を、寄贈先のエリアに偏りが出ないように、以前に寄贈した国とのバランスを吟味して継続推進する。

ポスターアーカイブは、追加寄贈いただける作家からの体系的な寄贈を受け入れる。田中一光ポスター作品を高解像度のデジタルデータに変換する作業に着手する。アーカイブ作品を一般に公開する仕組みやアーカイブセンターとしての機能を抽出・検討する。

(1) 田中一光アーカイブ

平成25年度は、一部分散して管理されている作品の整理をおこない、作品以外の資料類などのデータの精緻化を進める。同時に高解像度画像データによる保存、田中一光アーカイブセンターの立地、機能、設備等の検討に着手する。

(2) ポスターアーカイブ

国内外の現代グラフィックデザインの秀作を次世代に文化遺産として残すための収集活動を継続する。

現時点では、国内103作家、海外87作家、計190作家、10,480作品を収蔵している。平成25年度は、すでに寄贈いただいているデザイナーの追加収蔵を3名予定している。

収蔵ポスターの利用・公開のためのデータベースを整備する。これにより Web サイトでの公開や他美術館からの貸出し要請に対応する。

(3)タイラーグラフィックス・アーカイブ

アメリカの版画工房タイラーグラフィックスのコレクションを基盤とするアーカイブ。平成25年度も引き続き、CCGAに収蔵する同工房と著名作家とのコラボレーションを通じて制作された1,000点を越えるアメリカ現代版画のコレクションに関するテーマを設定し、その展覧会を開催する(CCGAにて公開)。また、他の美術館等への作品の貸し出しも行なう。

2. 展示事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とする優れた作品等の展示活動を行なう。展示企画内容により、必要に応じて国内外機関、個人との共同研究等を行ない、また、展示施設の管理運営を行なう。【定款 第4条(2)、(6)】

グラフィックデザインならびにグラフィックアート作品に関する鑑賞・体験機会を一般に広く提供するため、独自の展覧会を企画する。展覧会は、東京都 ggg、大阪府 ddd、福島県 CCGA の3展示施設で開催する。

平成25年度は、次ページに記載した予定表に従って展覧会を開催する。

8月大宮エリー展、9月 PARTY 展、10月長嶋りかこ展と若手作家の企画展で新しいグラフィックデザインの方向性を提案する。5月、6月、11月、12月には海外作家の企画展を開催してグローバルなグラフィックデザインの魅力をアピールする。

ddd、CCGAには、平成24年度3月にgggで開催した永井一正ポスター展を巡回し、当財団のポスターアーカイブの認知拡大も同時に目指す。

また、dddの展示スペースの拡大と集客力の向上を目指して、ギャラリーの移転計画を具体的に検討開始する。

・ggg(銀座)展覧会事業 (予定)

企画展	会期
第 320 回 2013TDC 展	4/4(木)～4/27(土)
第 321 回 カレル・マルテンス展	5/8(水)～5/30(木)
第 322 回 ホワイ・ノット・アソシエイツ展	6/5(水)～6/29(土)
第 323 回 2013ADC 展	7/4(木)～7/29(月)
第 324 回 大宮エリー展	8/5(月)～8/28(水)
第 325 回 PARTY展	9/4(水)～9/28(土)
第 326 回 長嶋りかこ展	10/3(木)～10/28(月)
第 327 回 ヤン・チヒョルト展	11/1(金)～11/26(火)
第 328 回 ソール・スタインバーグ展	12/2(月)～12/25(水)
第 329 回 勝井三雄展	1/9(木)～1/31(金)
第 330 回 佐藤雅彦・齋藤達也展	2/6(木)～2/28(金)
第 331 回 福島治展	3/6(木)～3/31(月)

・ddd(大阪)展覧会事業 (予定)

企画展	会期
第 191 回 グルーヴィジョンズ展(巡回展)	3/12(火)～4/26(金)
第 192 回 2013 TDC 展 (巡回展)	5/14(火)～6/28(金)
第 193 回 永井一正展(巡回展)	7/9(火)～8/30(金)
第 194 回 2013ADC 展 (巡回展)	9/10(火)～10/25(金)
第 195 回 未定	
第 196 回 GRAPHIC WEST(6)	

・CCGA(福島)展覧会事業 (予定)

企画展	会期
第 59 回 世界ポスタートリエンナーレ富山展	3/1(金)～6/9(日)
第 60 回 タイラーグラフィックス・アーカイブコレクション展 Vol.25	6/9(土)～9/8(日)
第 61 回 永井一正展	9/14(土)～12/23(月)
冬期休館	12/24(火)～2/28(金)
未定	3/1(金)～

ggg、ddd の入場料は、無料とする。CCGA の入場料は、有料(一般 300 円、学生 200 円)とする。但し、以下の方々は無料とする。

小学生以下と 65 歳以上の方、及び障がい者手帳をお持ちの方、地域の教育関係者(教員、学生)の教育を目的とした団体、オープニングイベント参加者、有料の講演会、映画会等への参加者 他

3. 教育・普及事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等に関するセミナーの開催、刊行物やインターネット等を通じた情報提供等の教育・普及活動の実施。【定款 第4条(4)】

グラフィックデザインならびにグラフィックアート等に関する知識・関心を、一般の方々に広げることが目的に、講演会、図書等の刊行、インターネットを通じた情報配信を行なう。

平成25年度、ggg Books は6点、ggg Books 別冊は1点を発行予定。アニュアルレポートは、8月に発行予定とする。

ggg Books の電子書籍版の発行も継続し、新たな販売促進の方法やフォーマットなどの検討を行なう。

また、田中一光アーカイブを活用して、同氏の作品と業績に関するグラフィックデザイン界、および美術・デザイン史における位置づけを、国際的な視野のなかで、広く調査・研究することを進める。まず、海外のデザイナー、デザイン評論家等のインタビューをおこなう。

ギャラリートークは、無料動画ネット配信により、来場ができなかった不特定多数の方々が広く参加できるものを基本とする。

須賀川CCGAにおいて、地元の版画文化振興と連携して版画工房ワークショップを継続開催する。また、CCGAのFaceBookサイトの運営を活性化し、ネットワークコミュニティを通じた活動告知もおこなう。

・図書の刊行:

平成24年度は、展覧会と連動し、作家の作品集「ggg Books」を6点(発行予定作家:村越襄、ホワイ・ノット・アソシエイツ、PARTY、大宮エリー、ソール・スタインバーグ、福島治)、「ggg Books 別冊」を1点(発行予定作家:勝井三雄)発行する。

田中一光アーカイブを活用した田中一光インタビュー集の刊行計画の推進。

・アニュアルレポート発行:

平成25年度は、「アニュアルレポート 12-13」を8月に発行し、翌年度刊行する「アニュアルレポート 13-14」の企画・編集を開始する。

・ギャラリートーク:

平成25年度は ggg(銀座)で12回、ddd(大阪)で6回開催予定。

また、セミナーのネット中継は、インターネット(ユーストリーム中継)を通じ配信する。

・ホームページ:

不特定多数の方を対象として、新鮮な情報発信とインターネットを活用した展覧会の予告、開催状況、ギャラリートークの予告、申込みなどに活用する。

- ・版画工房ワークショップ：3回開催予定
- =3月・4月開催予定 エッチング基礎講座
- =6月・7月開催予定 リトグラフ講座
- =10月開催予定 シルクスクリーン講座

4. 国際交流事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とした国際交流を行う。【定款 第4条(5)】

平成25年度は、gggにて4回の海外作家の展覧会を開催して、海外のグラフィックデザイン事情を紹介する。海外作家らの講演会を、展覧会活動と連動し、来日日程に合わせて開催する。

国内の他のグラフィック団体(東京アートディレクターズクラブ(ADC)、東京タイプディレクターズクラブ(TDC)等)と連携し、企画展の巡回先を検討する。

また、世界27カ国のトップデザイナーによって構成される国際グラフィック連盟(Alliance Graphic International)の日本事務局のサポートを継続し、海外作家との情報交換を積極的におこなう。(AGI総会は、今秋にロンドンで開催予定)

- ・カレル・マルテンス(5月、オランダ)、ホワイ・ノット・アソシエイツ(6月、イギリス)、ヤン・チヒョルト(11月、オランダ)、ソール・スタインバーグ(アメリカ)の企画展を開催し、作家のみならず各国の大使館やコーディネーターなどとの文化交流を促進する。
- ・AGIの日本会員に新たに選出された福島治展を開催する。

5. 研究助成事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とした芸術文化活動に対する顕彰及び助成。【定款 第4条(7)】

グラフィックデザインならびにグラフィックアートに関する研究者の活動を支援するため、「歴史」、「国際動向」、「教育」、「社会との関わり」、「技術動向」等、芸術文化の普及、振興に資する優れた研究テーマや刊行物等に助成する。

CCGA(須賀川市)周辺で開催されるグラフィックアートに関連する文化事業に対して従来から行ってきた助成・協賛を継続する。

以上